

定例記者会見資料
令和2年1月9日
復興政策部

「幸 満つる 郷 KDDIエボルバ 野蒜」の「MCPC award 2019」モバイルビジネス賞受賞及び東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」優良事例選定について

本市所在の「幸 満つる 郷 KDDIエボルバ 野蒜」が、11月28日にモバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)が開催する「MCPC award 2019」でモバイルビジネス賞を受賞するとともに、12月12日に東北農政局から「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」優良事例として選定されました。

このうち、「MCPC award 2019」は、AI灌漑施肥システム「ゼロアグリ」を活用し、水分と肥料を自動投入して、ミニトマト栽培の品質アップと収穫量の向上に活用した取組が認められ、東北農政局の「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」では、被災元地を活用した農産物栽培による復興支援と地方創生、地元の障害者・アクティブシニア雇用の取組が、それぞれ評価されたものです。

現在、「幸 満つる 郷 KDDIエボルバ 野蒜」では、障害者39名、アクティブシニア11名を社員として地元から雇用し、地域の障害者雇用と本市の地方創生に貢献しており、今後も様々な障害を抱えた方々を中心にして、事業と雇用の拡大を計画しています。

本市としても、平成30年11月30日、本市が掲げる「SDGs未来都市計画」の推進による地域活性化を目的とした協定を、KDDI株式会社、株式会社KDDI総合研究所、株式会社KDDIエボルバと締結しており、今後も「幸 満つる 郷 KDDIエボルバ 野蒜」が行うIoT、ICT等の通信技術を活用した取組や、地域の障害者や高齢者の雇用を持続的に行う取組に支援してまいりますので、今回の受賞に係る取材方をよろしく願いいたします。

○「MCPC award」

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)は、業界の枠を越えてモバイルコンピューティング、IoT/M2Mシステムを普及促進することを目的とし1997年に発足した任意団体であり、2003年以降、「MCPCaward」を開催し、モバイルシステムの導入によりIoT/AI分野での「業務効率化」、「業績向上」、「顧客満足度向上」、「社会貢献の推進」、「先進的なモバイル活用」等の成果を上げた事例を顕彰している。

○東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国に発信するものであり、東北農政局では、毎年、地域の活性化、所得向上等の取組や都市農村交流等に取り組んでいる優良な事例を選定しているもの。